

経営比較分析表（令和元年度決算）

熊本県 南小国町

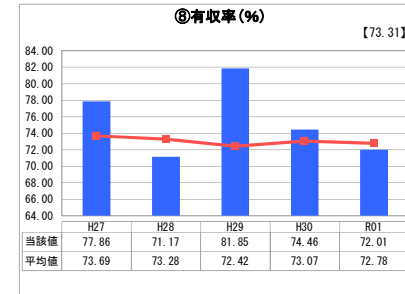
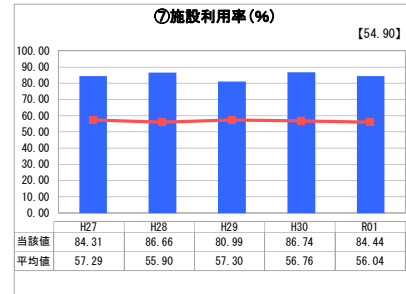
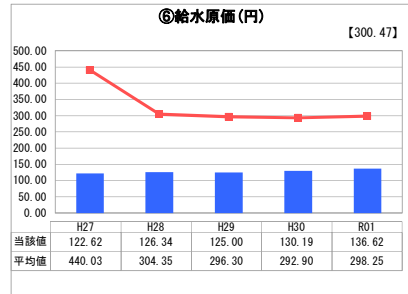
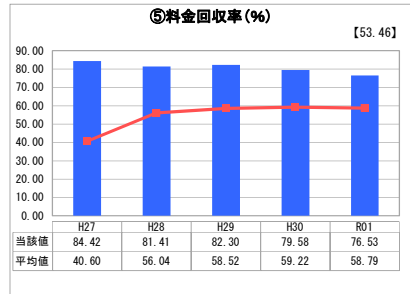
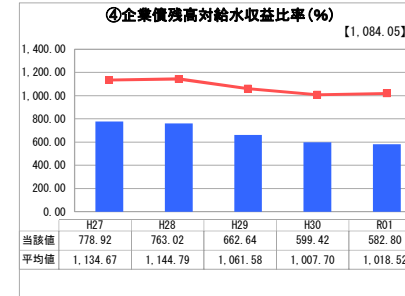
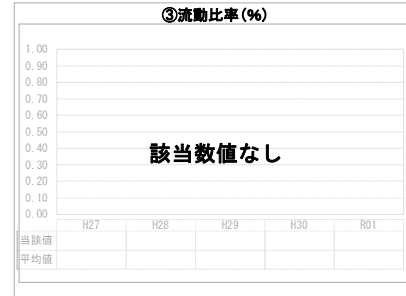
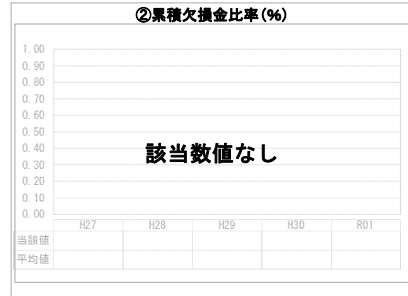
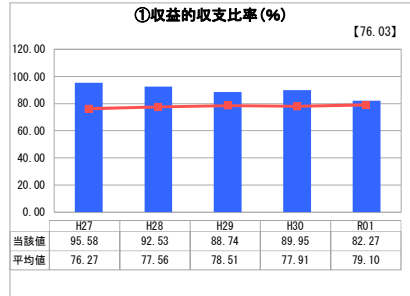
業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	84.49	2,120	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,019	115.90	34.68
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,366	10.46	321.80

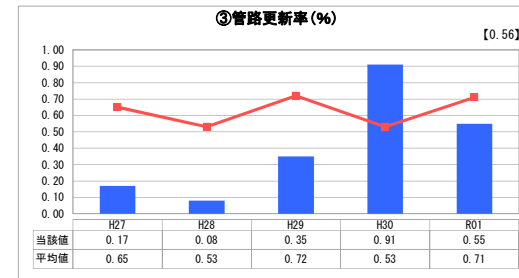
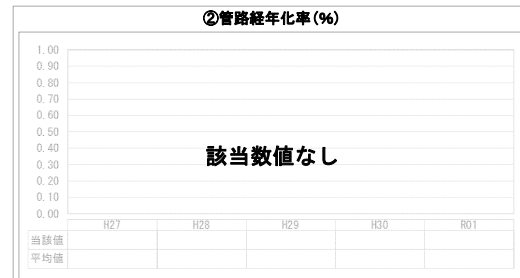
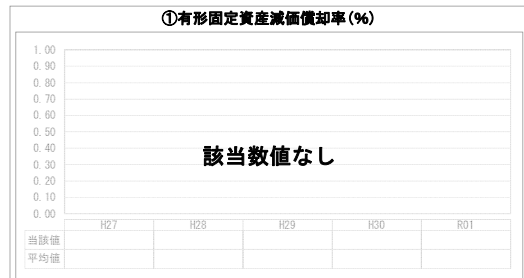
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率・料金回収率・有収率などが微減となっているが、新型コロナ対策として使用料の減免を行ったことを踏まえて考察すれば、比較的安定した経営になっていると思われる。ただ、施設と管路の更新計画については、老朽化を含めた現状での見直しが必要と思われる、併せて投資計画も見直したうえで、経営改善に向けた取組を行うことが必要と考える。

2. 老朽化の状況について

施設及び管路の更新計画を見直し、優先度の高い施設及び管路の選定や、投資計画を含めた計画見直しの検討が必要と考えられる。

全体総括

収益的収支比率・料金回収率・有収率などが微減となっているが、新型コロナ対策として使用料の減免を行ったことを踏まえて考察すれば、比較的安定した経営になっていると思われる。今後としては施設全般の点検等を行ったうえで、老朽化対策も含めての施設と管路の更新計画の見直しを行い総合的な基本計画の策定に取り組む必要があると考えるが、これらに法適化の取り組みを行うので併せて実施することを検討する。

経営戦略：令和2年度に策定予定